

* ○ * ○ * ○ * ○ * ○ * ○ * ○ * ○ *

すぎのこつうしん

令和元年6月号



6月の目標『楽しくお手伝いが出来る心を育みましょう』

先月の八木山ズーパラダイスへの親子遠足、いかがだったでしょうか。暑いぐらいの天候の中、平日だったのですが26団体も入場し、たくさんの人たちの中、親子で楽しそうに話をしている様子が見られ、じっくり関わる時間が持てたことを、子ども達の満足そうな笑顔から窺い知ることが出来たように思います。誰も迷子になることなく、無事行って来れた事に感謝致します。忙しい毎日の中では、発見出来ずにいる子どもの新たな一面を見つけることも出来たのかも知れませんね。

6月の目標は「楽しくお手伝いが出来る心を育みましょう」です。子ども達は、大人に自分がしてもらったことや、大人がしている事にとっても興味を持っています。大人が何かしていると、真似をして一緒にやろうとしたりします。そんな時、自ら気づきやろうとする気持ちを大切に「ありがとう」と声を掛けていくことが、お手伝いをする事は相手を喜ばせ自分も嬉しくなることを知る良い機会になるのだと思います。これから子ども達が自発的に手伝いが出来るよう楽しく関わっていきましょう。

< 園長 平野 義子 >



聖歌『神様といつもいっしょ』

1 かみさまと いつもいっしょ わたしたちみんな
あさがきて よがあげる たいようのプレゼント
ありがとうかみさまありがとう たくさんのおめぐみを
ありがとうかみさまありがとう わたしたちのため

うた『あめふりくまのこ』

- 1 おやまに あめがふりました あとからあとからふってきて ちよろちよろ おがわが できました
- 2 いたずら くまの子 かけてきて そうっとのぞいてみました さかなが いるかとみてました
- 3 なんにも いないと くまの子は おみずをひとくちのみました おててで すくってのみました
- 4 それでも どこかに いるようで もいちどのぞいてみました さかなを まちまちみてました
- 5 なかなか やまない あめでした かさでもかぶっていきましょうと あたまに はっぱをのせました



8か月からお世話になっている〇〇も、あっという間に2人のお兄ちゃんになり、カトリック保育園最後の一年を迎えました。未満児クラスの時感情を上手く表現出来ないと、泣きが強く唇が紫になるまで泣いて先生方に大変ご心配とご迷惑をお掛けしました。初めての子育てだったので、いつも相談にのって励まして下さる先生方に本当に感謝しております。厚くなった連絡帳は私たちの宝物です。

そして、恥ずかしがりやの〇〇が相手の目を見て挨拶をし、お手伝いも少しずつ出来るようになりました。毎日傍で見守りご指導下さった先生方のお陰です。本当に、ありがとうございます。お友だちにも恵まれ、今では保育園での楽しかった出来事を聞くのが我が家での日課です。お友だちの優しさに触れ〇〇も優しい気持ちを持てるお兄ちゃんになりました。ひつじさんでの最後の一年間を目一杯楽しんで小学校へのステップアップが出来ると思います。6年間本当にありがとうございました。今後共よろしくお祈りします。

< ひつじ組 〇〇 〇〇んのお母さん >

行事予定



4日(火)静修の日(こねこ・うさぎ・ひつじ)



21日(金)大崎ホーム訪問 (うさぎ・ひつじ)



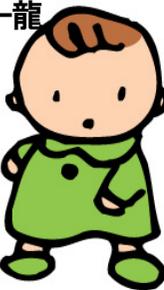
7日(金)草すべり(こねこ・うさぎ・ひつじ) 12日(水)防災訓練

14日(金)保育参観(こねこ・うさぎ・ひつじ) 25日(火)破牙神ライザ一龍の防災教室





28日(金)誕生会





ばんび組

- <ねらい> ・簡単な手伝いに興味を持ち、しようとする。
・梅雨時期を健康で快適に過ごす。
- <家庭連携> ・簡単な手伝いを頼み、出来た時は褒めて嬉しさが味わえるようにしましょう。
・衣服の調節が出来るよう、半袖や薄手の長袖等着替えの補充をお願いします。

ひよこ組

- <ねらい> ・簡単な手伝いの楽しさを知る。
・オマルに座ることに慣れる。
- <家庭連携> ・遊んだ後の片付けを一緒に行うことで、少しずつ手伝いが出来るようにしましょう。
・おむつが汚れていない時や機嫌が良い時にオマルに座らせましょう。

ことり組

- <ねらい> ・手伝いや当番の楽しさを知り、喜んで行く。
・身の回りのことを自分でしようとする。
- <家庭連携> ・家庭でも簡単な手伝いを体験できるようにし、手伝う楽しさや喜びを味わえるようにしましょう。
・食事や衣服の片付けなどをする時は、自分でしようとする姿を見守ったり一人で出来たことを褒めるなどして、少しずつ身の回りのことを自分で出来るように関わっていきましょう。

こねこ組

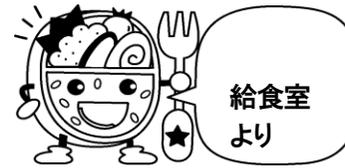
- <ねらい> ・周りの人に目を向け、手伝おうとする。
・身近な自然に触れ梅雨の季節を感じる。
- <家庭連携> ・簡単な手伝いを頼み、手伝ってくれたことに感謝し、手伝うことの楽しさや喜びを感じられるようにしましょう。
・雨の日の散歩に出かけ、雨の音を聞いたり生き物を見たり興味を持てるようにしましょう。

うさぎ組

- <ねらい> ・進んで手伝い、助け合おうとする。
・園外活動を通し、普段と違う環境に関心を持ち、その中で楽しみ方や場に応じたマナーを覚える
- <家庭連携> ・子どもの好奇心に沿った手伝いを用意し、“助かった”という気持ちを伝え沢山褒めてあげましょう。
・外出先などその場に応じたマナーを知らせていきましょう。

ひっじ組

- <ねらい> ・小さい子、困っている人に気付き、優しくしたり、手助けをする。
・自分の身の回りの事や、体に関心を持ち、健康に必要な習慣を身に付ける。
- <家庭連携> ・手伝っている姿を見逃すことなく、感謝の気持ちを伝えましょう。
・手洗い、うがい、歯磨き等一緒に行い、習慣づくようにしましょう。また、休日は親子で料理作り、などをしながら、食べ物や体に関心が持てるようにしましょう。



暑い日が続いています。喉が渇き水分を摂りたくくなります。熱中症を予防するためにも水分補給は大切ですが、甘みの強いジュースやアイスは余計喉が乾きますので水分補給には向きません。麦茶か水・薄めたスポーツドリンクをこまめに飲みましょう。

(栄養士 石川真紀)



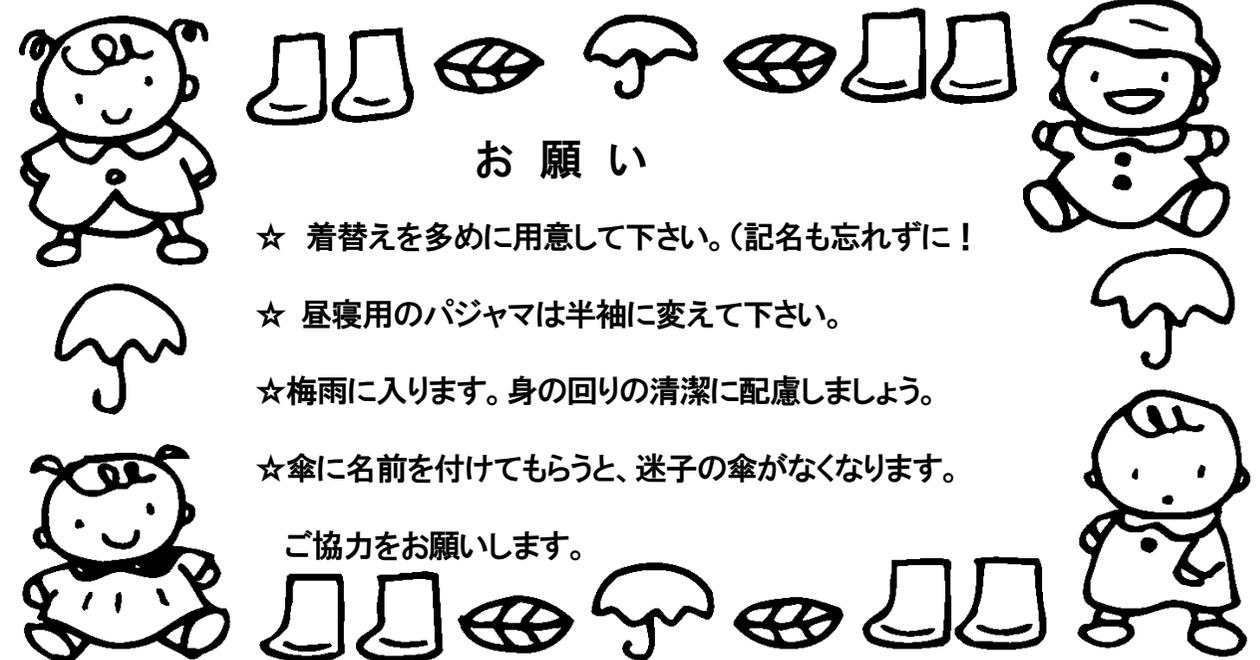
♡ 保育士より ♡

『楽しくお手伝いが出来る心を育みましょう』

私自身、あまり記憶にはないのですが、2~3歳くらいの頃「お手伝いをする！」と言って張り切ってお手伝いをしていたという話を祖母から聞いたことがあります。そして「“手伝わなくてもいいような時、に限って「する！」って言うんだよ」と言っていました。でも、“自分でする”って言った時にやらせないと後でしなくなると思って手伝わせていたそうです。

私にはもう直ぐ3歳になる娘がいます。2歳半頃「お手伝いする」といってご飯が入った茶碗を運んだり、布団を敷く手伝いをしてくれます。毎日ではありませんが、お手伝いしたいというときは祖母が言っていた言葉を思いだし、手伝ってもらおうようにしています。保育園の子ども達も手伝いを頼むと笑顔で手伝ってくれるので、楽しく手伝いが出来るようにしたいと思っています。

〈ひよこ組 島山 歩 保育士〉



- ☆ 着替えを多めに用意して下さい。(記名も忘れずに！)
- ☆ 昼寝用のパジャマは半袖に変えて下さい。
- ☆ 梅雨に入ります。身の回りの清潔に配慮しましょう。
- ☆ 傘に名前を付けてもらえると、迷子の傘がなくなります。

ご協力をお願いします。